

平成 30 年 4 月 24 日（火）、四国中央市内で交通安全教室を開催しました。

●警察官の講話

(①県内の高速道路事故概況、②道路情報板について、③逆走車を見たときの対処法、④もしも高速道路で事故を起こしてしまった時の対処法、⑤走行中に動物が高速道路上に出てきた時の対処法、⑥あおり運転について など)



●反射材効果の体験

(反射材がある場合とない場合の見え方の違いを体験)



●シートベルトコンビンサー（JAF 所有）での時速 5 km/h の衝突体験

(時速 5 km/h でも衝撃は強く、運転席と後部座席での衝撃の違いや、シートベルトをしている場合としていない場合の違いを実感していました。)



※シートベルトコンビンサーとは、時速5 km/h での衝突体験を通じてシートベルトの重要性を学ぶものです。

● 県警の交通安全教育車でのシミュレーション体験

(運転シミュレーションや反射速度を測定し、警察官からのアドバイスもありました。)



高速安協では、会員様限定でこのような交通安全教室の申し込みを随時受け付けています。
社内での交通安全教育や新入社員の教養などに、ぜひ活用してください！